



料金別納郵便

高橋奈己 展 —実と蕾—

令和2年11月22日(日)~28日(土) 会期中無休

開廊時間：午前11時~午後7時(最終日28日は午後5時まで)

作家在廊日：会期中、全日在廊予定

高橋奈己の作品は過度な装飾を排し、極めてシンプルな白一色の世界でありながら、見る者を飽きさせない。

光を反射する面と影になる面とが光源の位置や種類によって微妙に変化するように計算されている。これが、ヒト視覚における図地反転知覚を惹起し、作品のみならず近傍の空間をも流動的に見せる効果を持つ。高橋の作品に飽きが来ない理由は、当該効果によるものであろう。

上代日本語では「かげ」が光のことをも意味した。仏典で蓮の花が選択的に用いられるのは、因果俱時を象徴するためである。高橋はこれに倣い、影と光、実と蕾を同時に表現する。光を意味する「かげ」から派生した言葉に「かかやき」「かかみ」がある。先島(琉球弧の宮古島以西)方言では同根の「かぎ」が、美しいを意味する。「すなかぎ」といえば、品性が良いことや上品であることをさす。

そぎ落とした表現によって陰影の美を追求する高橋のアプローチは、現代アートとしてコンセプチュアルな方向への展開の可能性すら感じさせる。

中野信子(医学博士・脳科学者)

陶歴 平成9年 武蔵野美術大学短期学部専攻科陶磁コース卒業
平成9~11年 ファエンツァ国立陶芸美術学校在籍(イタリア)
平成25年、27年、29年 菊池ピエンナーレ 入選
平成28年 日本伝統工芸展 新人賞、女流陶芸展 T氏賞
平成29年 日本陶芸展 茨城県陶芸美術館賞
平成20年 現代茶陶展 TOKI 織部大賞
令和元年 「岡田文化財団設立40周年記念 第14回パラミタ陶芸大賞展」

柿倉ギャラリー
KAKIDEN GALLERY

公式Instagram



160-0022 東京都新宿区新宿3-37-11 安与ビルB2階
03-3352-5118 gallery@kakiden.com
<https://www.kakiden.com/gallery/>



コロナ禍の影響で、会期と営業時間の変更や、オンライン展示のみの可能性もございます。
お手間で恐縮ですが、弊廊ホームページや公式SNSにて、最新情報をご確認頂ければ助かります。

